

日本社会情報学会（JSIS）ニュース

第37号 2010. 3. 8

- I 会費の減免について(総括理事)
 - II JSI 編集委員会報告(英文雑誌編集委員会)
 - III JSIS 大会研究発表賞受賞を受けて(吉田千穂)
 - IV 第56回日本社会情報学会（JSIS）理事会議事録
 - V 会費納入のお願い（事務局）
-

I 会費の減免について

今年の4月1日から新たな会費減免措置がスタートします。会費の減免には会員の自己申告が必要で自動的に減免される訳ではありません。

1 60歳以上で正規雇用の職にない会員は会費が半額になります。既に定年等で退職されている会員、3月末で退職される会員で、60歳をこえておられる会員は会費が半額になります。退職後に非常勤等でどこかで働いておられる場合でも、その雇用関係が、雇用期間に定めがある雇用であって、1週間の所定労働時間が通常の労働者と同程度である労働契約を締結せず、雇用保険の一般被保険者として雇用されていない場合は、会費が半額になります。万一、上記の労働契約を締結している場合でも、1週間の所定労働時間が30時間未満の会員はかかる労働契約を締結していない者として扱われます。

2 修士課程修了以上で正規の職に就いていない正会員の会費も半額になります。非常勤講師をしておられる場合でも、その雇用関係が、雇用期間に定めがある雇用であって、1週間の所定労働時間が通常の労働者と同程度である労働契約を締結せず、雇用保険の一般被保険者として雇用されていない場合は、会費が半額になります。万一、上記の労働契約を締結している場合でも、1週間の所定労働時間が30時間未満の会員はかかる労働契約を締結していない者として扱われます。

3 留学等でやむなく会員としての活動ができず休会する場合の会費減免措置が拡大されました。ある年度の全期間を休会すると全額免除ですが、年度中に半年以上の休会をすると半額免除になります。ただし、休会すると学会誌やNewsLetter等を受け取ることができなくなります。

以上の措置は、日本社会情報学会実施細則7条の改正と会費未納の場合の取扱いに関する規程5条の改正により実施されることになりました。これらは学会のホームページに掲載する予定ですが、分からない点があれば事務局へお問い合わせください。また、会費の減免を申請するための申請書を学会のホームページに掲載することになっています。

II JSI 編集委員会報告

平成21年度第4回JSI編集委員会議事録（案）

2010年1月23日10:00-11:00

出席者：五藤、桜井、今田、山本、田中

（文責：桜井）

1. 前回議事録の確認

問題点があれば、指摘するように要請があった。

2. 論文審査

審査に先立ち、前号と同様の基準で判定することを確認した各論文の担当委員を以下のように定め、査読者決定後桜井委員まで報告することとした。（1：採録、2：条件付き採択、3：再査読、4：不採択だがResearch Noteとして推薦、5：不採択）

3-1-1 345と分かれたが、審議の上、不採択としResearch Noteとして推薦

3-1-2 査読中

- 3-1-3 査読中
- 3-1-4 査読中
- 3-1-5 査読中
- 3-1-6 355とあり、基準通り審議の上、不採択
- 3-1-7 355であるが、著者の錯誤の可能性があるので、再査読（但し、1か月以内の修正期間を厳守のこと）

3. 3号の掲載論文について

JSISでは、一本の招待論文の掲載が確定済みであるので、JASIは招待論文等について引き続き検討することとした。

泉田知事の講演記事の英文版を作製し、3号に掲載することを検討することとした。

4号以降では、海外の研究者の招待論文の掲載を検討することとした。

4. 著者報告用様式について

不採択だがResearch Noteとして推薦する書式について確認した。

5. 著者課金について

4号以降では、査読謝金を独立に賄えるように、著者に課金することを今後検討することとした。

6. 次回日程について

2010年3月6日10:00-12:00(東大予定)

Ⅲ JSIS 大会研究発表賞受賞を受けて

名古屋大学情報科学研究科社会システム情報学専攻博士後期課程

吉田 千穂

この度、JSIS 大会研究発表賞という大変素晴らしい賞を受賞することとなり、大変名誉に感じております。ご支援くださった皆様、審査員の先生方、そして日ごろより熱心にご指導下さる先生方、本当にありがとうございました。

私どもの研究は、深刻な少子高齢化に直面する山村地域コミュニティとインターネットによるバーチャルコミュニティの連携を促すことにより地域活性化の新たな糸口を発見することを目的としております。

実社会をしっかりと捉え分析し、そこにインターネット技術を適用することによって地域社会に適合するインターネット社会基盤設計に取り組んでおります。

そうした中、今回の受賞は、大変な心の励みとなりました。

今後なお一層の精進を重ね、世に役立つ研究成果を生み出せるよう努力してまいります。

本当にありがとうございました。

Ⅳ 第56回日本社会情報学会 (JSIS) 理事会議事録

日時：2009年12月5日(土) 13:30~16:30

場所：東京大学大学院情報学環(本館) 7階第一会議室

出席者：黒須俊夫(会長)、遠藤 薫(副会長)、大國充彦、今田寛典、柴田邦臣、橋元良明、吉田純、岡田安功(総括理事)、藤井史朗(事務局長)ー以上、現理事・事務局長

欠席者：北村順生、守弘仁志、森谷 健、吉井博明

報告事項

1. 第55回理事会以降の活動について

イ. 和雑誌編集委員会

橋元委員長より、今回は倍の投稿があったこと、また初めて新方式により評価した旨報告された。評価一覧が配布され、特に「B」評価については、修正WGで、修正したかどうかをチェックすることとし現在チェック中であること、C評価8本については、修正後AかBにする旨報告された。

ロ. 洋雑誌編集委員会

今田委員長より、別紙により次の報告があった。第3巻を来年の夏くらいをめどに準備していること、投稿受付を10/15までのばすし、25日までに7編の投稿があったこと、印刷製本は両学会で900~1000とし、残部を調べて決める、また、印刷物としての発行は少なくとも3巻まで、ということだったが、会員の中にも印刷物として残すべきとの意見があり、ゼロにはできないと考える。洋雑誌についてのホームページ(JSI)の立ち上げが決まり、今後、JSISホームページとりんくしたい。査読料金は5000円とし、予算計上する。著

作権の移転は、すでに投降者にも示しているが、多重投稿しないということを書類で出すことが必要である。投稿料については、標準ページを超えた超過ページ料について超過料金を取ることも議論中である。

これについて、著作権移転といういい方を著作権管理の委託とすべきではないか、との質問があり、移転よりは委託の方がよいとの意見があった。

ハ. 研究委員会

岡田総括理事から代理で以下の報告があった。すでにメールで報告されているが、11月6～7日に、共催で長崎・福岡で研究会が持たれ、ワークショップが対馬で開催された。参加者は九州北部に限られず集まった。

ニ. 学会賞選考委員会

ホと合わせて黒須会長より提案。

ホ. 合同研究大会企画委員会

黒須会長より、北村実行委員長からの大会実施報告書(案)に基づいて、以下のとおり報告された。参加者207名、うち会員141名が参加。会計報告も両学会で承認され、総収入のうち17万の寄付が生きている。「大会運営について」ホームページを開く。補助金申請、保育施設の斡旋を行った。参加アンケートの概要について報告された。また、会員外協力者への謝金について問題提起された。シンポジウムについては、社会情報学との関わりが今ひとつとの意見が紹介された。研究発表賞は投票の一覧表作業が進まず、持ち帰って、整理して提案したが、意見がまとまらず、最終的に黒須、森谷案で、従来の基準でJSISのみ1人選定した。

岡田総括理事より、ニュースレターで優秀賞の人に一言書いてもらいたいとの提案があった。

ヘ. 企画委員会

大國委員長より、HPは要求あるものをアップするが、委員会ごとにページを明確に作って掲載、ということは今後検討したいとの報告があった。

ト. 渉外・交流委員会

遠藤副会長より、社会学系コンソーシアムについて、シンポジウムをこれから行うとの報告があった。

チ. 法規委員会

審議事項で再提案。

リ. 事務局

藤井事務局長より、会員状況および会費納入状況について報告があった。

2. その他

遠藤副会長より、社会学系コンソーシアム副委員長の藤田氏、吉田民人氏が亡くなった旨報告された。

審議事項

1. 第55回理事会議事録(案)の承認について(総括理事)(別紙)

岡田総括理事より、議事録について提案され、承認された。

2. 会員名簿の提出について(洋雑誌・編集委員会)

今田委員長より、資料に基づき次の提案があった。ジャーナルの1,2号がCiNiiに登録されたが、両学会での登録はできないため、JSIS会員が検索する時に料金が必要となる。ただし、大学関係者は大学サイドから無料で入れる。無料にするためには、名簿をJASIに渡して、それをCiNiiに回すこととなる。JASIは責任を持って管理するので了解してもらえれば、そのようにする。

これについて、必要最小限の情報提供に限ってほしいとの要望があった。

3. 英文雑誌編集委員会

第3巻は、計7編で、招待論文はゼロ。JASIは、優秀論文一本を招待論文に。後1編。JSISでも推薦依頼する。バックナンバーを一冊1000円で売ったらどうか。

これについて議論し、洋雑誌、和雑誌ともに1000円で販売することを確認した。しかし、定期購読については、これまで通りの値段とすることとした。

4. 著作権法規定Q&Aについて

岡田総括理事より、別紙により、Web上での周知のためQ&AをHPの著作権規定の下に付け加えたいとの提案があった。

これに対し、学会の著作権規定との連動を意識した構成にすべきとの意見が出され、一部修正した再提案を行うことが確認された。

5. 入・退会の承認について(事務局長)

藤井事務局長より、書類により、前理事会以降の入退会について報告され、承認された。

6. 学会事務の外部委託の拡大について（事務局長）

藤井事務局長より、2010年度以降、事務局業務のうち、日常の入退会・異動記録まで含めた名簿管理、長期滞納者・連絡不能者への追跡、非常勤職会員や定年退職後の会員への会費減免対応などの業務をさらに外注する方向が提案された。これについて議論し、提案方法への意見が出され、それを踏まえて実施することが承認された。

7. 来年度以降の会費減免措置実施のための準備作業について（事務局長）

藤井事務局長より、次期事務局・総括理事との連絡を取り、2010年度よりHP等にも反映させたいとの提起があり承認された。

8. 「この2年間の活動のまとめと今後の課題（仮称）」の原稿について（会長）

黒須会長より、理事会としての活動の総括と次期への引き継ぎ事項をきちんと伝達するため、新旧合同引き継ぎ会議までにまとめることが提案された。これについて議論し、3月10日位までに、岡田総括理事に記事を送ることが確認された。

9. 2010年度第15回研究大会の日程について（会長）

黒須会長より、来年度研究大会を、9月4日～5日 長崎県立大学（佐世保校、もしくはシーボルト校）にて、JASIの主担当で実施するとの報告があった。これについて新潟の合同大会委員会が 昨年3月に開かれていることに鑑み、本年度も3月に企画委員会を開きたいこと、黒須会長、三役、伊藤新会長とで打ち合わせることが示唆された。

10. 研究発表賞の選考方法の在り方について（会長）

黒須会長より、研究発表賞の選考がもたつたとの指摘があり、来年度の方法について、次期合同企画委員会で検討してもらうことを確認した。

11. 国際学術団体への新規加入希望調査について（会長）

この件につき、黒須会長が問い合わせ、特にこちらの学会の意思が求められているのではないことが確認された。

12. 次回理事会の開催日程について（会長）

次回理事会は新旧合同にて、4/11（日）13時半～より、東大6階会議室にて行う（後で、このように変更されました）。

以上

V 会費納入のお願い（事務局）

会費納入率は、3月7日現在、2009年度71%、2008年度81%になっております。毎度のお願いで恐縮ですが、未納者の方には請求書と振替用紙を同封いたしましたので、納入をお願いいたします。特に新入会員の皆様はよろしくをお願いいたします。

なお、請求書等に誤りがある場合は、ご連絡ください。

日本社会情報学会（JSIS）事務局

〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3丁目5-1

静岡大学情報学部 藤井研究室気付

TEL&FAX 053-478-1522（直）

e-mail : s-info@inf.shizuoka.ac.jp

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

日本社会情報学会（JSIS）振替口座（ゆうちょ振替口座）

・口座名 日本社会情報学会

・口座番号 00140-2-763005

・口座住所 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4 産業プラザB1

NPO法人iコミュニティ内 日本社会情報学会（JSIS）

会費・和雑誌受領担当 和泉恵子

・e-mail : desk@NPOicom.com